



スタートして6年目、

次世代を担う**学生**と**企業**が協働企画・編集。

CSRへの取組みを記載した
「**Eblo Report 2015**」を
今年も発行しました。



「今回、プロジェクトに参加した学生の声」

- 他のどこでも体験できない貴重な体験をさせていただき、自分に自信が持てるようになりました。
- 時間に追われつつも、メンバーの成長や自身の成長を共に感じることができ、充実感溢れる日々でした。
- 社会人の方々と活動したことで、学生として多くの事を学ばせていただきました。
- このプロジェクトを通し、名刺交換、話し方、メールの送り方など社会に出たときの必要なスキルを身につけることができました。
- これまでの学生生活の中で1番濃い時間でした。このプロジェクトで得た経験を社会で活かしていきたいです。
- プロジェクトを進める上で、チームとしてどのように意見し作成していくべきか学ぶことができました。
- 共にプロジェクトを進めた同世代の学生・100歩先を行く先輩・かっこいい社員の方々をみて、自分も成長したい、近づきたいという気持ちが生まれました。
- 活動を通して自分の課題を知ることができました。今後の学校生活や就職活動に活かしていきたいです。

▲今年、3年生女子2名、2年生男子4名、計6名がプロジェクトに参加しました。

2016年1月15日、ソーシャルイノベーションマガジン「オルタナ」主催の「CSRリーダー会議@Tokyo」で多くの社会人を前にプロジェクトの学生リーダーが、本レポートを紹介。レポートの協働制作等についてプレゼンテーションを行いました。



「学生」と創ってきた5年。ひとつのステークホルダー・エンゲージメント。

ニッセイエプロ株式会社は、2010年、国連グローバル・コンパクト(UNGC)へ加盟して以来、毎年、武蔵野大学 環境学部(現:工学部 佐々木重邦教授/学部長)の大学生との協働し、この社会的責任活動の報告書(COP〔Communication on Progress〕)を企画・編集、発行してきました。

このプロジェクトの目的は、大学・学生においては研究活動の一環として、また私たちにとっては、学生の「キャリア教育支援、アクティブラーニング支援」として「報告書の協働制作自体が本業を通したCSR活動のひとつ」と位置付けています。昨年、10月にプロジェクトがキック・オフ。以降、幾度も学生と検討を重ね、新たな価値創造を目指して「Drive 100」を編集方針と決め、制作いたしました。

「Eblo Report 2015」は私たちにとって「CSRへの取組み」の象徴として、今年、6回目の発行をしました。お読みください。